

イチカラ

No. 2

ぼく
ごよう
僕の御用

僕は、お母さんと二人で団地に住んでいます。

お母さんは朝早く出勤するので、隣の棟にいるおばあちゃんが毎日来てくれます。僕が三歳の時から保育園に連れて行ってくれたり、遊んでくれたりしました。今も夕食を作ってくれたり、家の事をいろいろしてくれます。小さい頃は、それをふつうに思っていたけれど、今はおばあちゃんに感謝しています。

口げんかしてしまいうちもあるけれど、僕とおばあちゃんはまあまあ仲よしだと思います。おばあちゃんは毎日教会にお参りしています。教会の行事やお祭りがある時は御用もしています。

僕もお母さんと日曜日の月例祭に教会へ行き、たまに御用をします。

友だちと遊びたいと思うときもありますが、でも、御用は何となく楽しくて、けっこう気に入っています。

教会の先生やおとなの人たちから、「御用ができて、すごいね」

「いろいろできるようになったね」とか言ってもらうと、少しはすかし気もするけど、うれしくて、早くおとなの人たちと同じくらいできるようになりたいです。



一番はりきって御用ができるのは、ご大祭の時です。たくさんの人がお参りして、ご神前にはりっぱなお供えものが並んでいます。よそからも教会の先生が来られて、おばあちゃんもまわりのおとなの人たちもバタバタ忙しそうにして、いつもより緊張しているように見えます。

○ 　ご大祭の時、お広前で僕が重い三人掛けの椅子をいとこと二人で運んでいたら、お参りの先生が通りかかり、

「ほう、すごいなあ」
と言って頭をなでてほめてくれました。

「いえ、それほどでもありません」
と答えると、その先生は大きな声で大笑いしました。

○ 　ほかに、参拝した人たちにお直会の袋を玄関で手渡す御用もします。ご大祭の前日や当日、御用する人たちの食事の準備も手伝います。おかずを配るときは落とさないように、お汁をこぼさないように、お母さんの注意を聞いて、気をつけながら運びます。

○ 　ご大祭の日は、忙しかったり、お祭りが長くてじっとしてたり、お祭りのあとの片付けがあったりで、一日がとても長いですが、終わるとほっとします。でも、気持ちがいいです。どうしてなのかと思いますが、おとなの人たちが声をかけてくれるから、はりきってしまいます。喜んでくれるのでがんばります。

○ 　おばあちゃんやお母さんは、僕が健康でお役に立つ人にお育ていただきありがとうございます。いつも神さまに願っていると言います。それを聞くとき、僕はうれしい気持ちと、一生けんめいがんばらなくてはと思います。

○ 　これからも、教会の先生や皆さんに喜んでもらえるように、がんばって御用をしていきたいと思っています。





今さら聞けない金光教のギモン



『今日はどういうお祭りなの？』

そう聞かれて、答えることができますか？

内心では、ドキッとされる方も多いのではないのでしょうか。

「ご祭典がどういう意味合いを持っているか」を知ることは、「どういうことを願っていくか」に繋がる大切なことです。ちょっとだけ学んでみませんか。

お祭りの中心ってなに？

お祭りの一番の中心は祭詞です。先生が読み上げる、クルクルと巻いてある真っ白な大きな紙です。書いてある中身は、神様や霊様へのお礼とお願いの言葉です。

先生が祭詞を読まれる時、みんな頭を伏せます、それはなぜでしょう。先生だけが神様にお礼やお願いを申し上げているのだったら、みんな頭を下げている必要はありませんね。先生は、みんなの代表として神様に申し上げてくださるのです。ですから、私たちも、先生と同じ気持ちで神様に頭を下げるのです。心を込めてお参りさせていただきます。

玉串（たまぐし）とは？

玉串は、月例祭、大祭などの祭典中にお供えします。私たちが生かしてくださっている神様に対し、真心を込めてお供えするものです。ですから、玉串を受け取ってからお供えするまでの時間は、「神様ありがとうございます」という思いを込めましょう。

・榊（さかき）について

玉串の榊の木は、お供えの真心を乗せるお盆の役割をしています。

・紙垂（しで）について

榊についている紙の紙垂が真心の象徴です。玉串を受け取ったら、まず紙垂が正しく乗っているか確認しましょう。

【祭典に関わるクイズ】



Q 1. ○のなかに入る文字はなんでしょう？

生 ○ 金 光 大 ○ 大 祭

※同じ文字が入るよ！

10月～11月に、みなさんの教会で行われているお祭りです。

Q 2. ご大祭のあと、お供えものを下げて、みんなで神様のお話をしながらご飯などをいただく行事を「直会」といいます。どの読み方が正しいでしょうか。

- ①ちよっかい
- ②なおらい
- ③にやおあい

Q 3. ご祈念でとなえる言葉を「拝詞（はいし）」といえます。

その中で最初に出てくる「^{かしこ}畏しや」という言葉の意味は次のうちどれでしょう？

- ①もったいないくらいありがたい！
- ②「かしこし屋」っていう店
- ③めっちゃ頭良いね！

答え A 1. 神 A 2. ② A 3. ①

ふわふわドーナツ

とっても簡単

ホットケーキミックスと豆腐を混ぜて揚げるだけです。

トッピングも楽しんでみてね。



材料 8個分

ホットケーキミックス	200 ^g
絹ごし豆腐	100 ^g ～120 ^g
揚げ油	

作り方

- 1 ボールにホットケーキミックスと豆腐（水切りせず）を入れ、手でよく混ぜる。
粉っぽい時は、豆腐の量を足す（入れすぎに注意）
- 2 8等分にして、リングの形に整える。
- 3 両面がきつね色になるまで揚げる。
- 4 揚げたてにグラニュー糖などまぶしてできあがり。

トッピング

チョコレートをつけたり、また、きな粉に砂糖を混ぜたものをまぶすと和風になります。いろいろとアレンジを楽しんでください。

子供に話してみよう



「一人かけても、あなたはいない」

みなさんは、一人に一つ、神様から命を頂いています。そしてその命の元は、お父さんとお母さんですね。そして、お父さんにもお母さんにも、それぞれにお父さんとお母さんがいます。みなさんからいえば、おじいちゃんとおばあちゃんです。みなさんの命は、お父さんとお母さんがいなかったらありませんね。そしておじいちゃん、おばあちゃんがいなかったら、お父さん、お母さんがいませんから、みなさんもないのです。

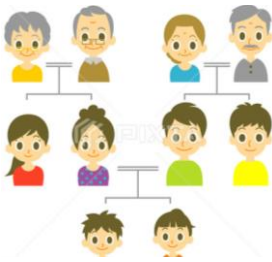
そしてそれは、おじいちゃんおばあちゃん、そのまたおじいちゃんおばあちゃん、そのまたおじいちゃんおばあちゃん、とずっと続いているのです。これがご先祖様です。

さあ人数を数えてみましょう。みなさん一人ひとりにお父さんお母さんで2人、おじいちゃんおばあちゃんが合わせて4人、ひいおじいちゃん、ひいおばあちゃんが8人、そのまたおじいちゃんおばあちゃんは16人というふうに、

ドンドン増えていきます。それで、それを9回も重ねて、ご先祖様を全部合計するともう千人を越えてしまいます。(9代で1022人) すごいですね。

もしも、このすごい数のご先祖様が、だれか一人でもいなくなったら、みなさんはここにいないということになるのです。わかりますか？ それもいるだけではだめです。大人になって、子供を授からないといけません。これは大変なことだと思いませんか。

私もみなさんもみんな、今ここに命を頂いて生きているのは、すごい数のご先祖様が命をつないで下さったおかげなのです。そして、その命の元になっているのが、天地金乃神様なのです。しっかりお礼させてもらいましょうね。



蚊も一生懸命生きている

みなさんは、蚊が飛んできたらどうしますか？（子供に質問する。）

○飛んでいる蚊を両手でたたいて殺すという人？・・・

○とまらせておいて、たたいて殺すという人？・・・

○追い払ったり、逃げられれば逃げるとい人？・・・

○あらかじめ虫除けをしておくという人？・・・

（一番多い意見）・・・という人が多いようですね。

どうしてそうするのですか？（さらに子供に聞く。）

（刺されるのがいやだから／かゆくなくなるのはいやだ／蚊が嫌いだから・・・）



まあ蚊が好きだとか、あのかゆいのをかくのが気持ちがいいなんていう人はいないでしょうね。私もあまり好きではありません。

でも、ちよつと考えてみると、蚊も一生懸命生きていると思うんです。神様から見れば、人間も蚊も、天地の間に生きているということでは同じ生き物だと、教祖様は教えてくれています。とすると、さつきみなさんが答えてくれたことは、人間の勝手な都合だと言えないでしょうかね。

教祖様は、蚊に刺されるとすごく腫れるというお体だったそうですが、それでも、蚊が来ると、ふうふうと吹いておられたと伝えられています。

蚊に刺されるのはあまり気持ちのいいことではないですから、たたいてもいいでしょう。けれど、これからは、「蚊も一生懸命生きている。私たちと一緒にだ」と、ちよつと考えてみてくださいね。

子供とお話するポイントだよ



- ①難しい言葉は使わないようにする。使うときはちゃんと説明してあげる。
- ②長い話はだめ。短く簡潔に話す。
- ③子供と対話をするようにする。「○○って知ってる？知ってる人！」というように挙手してもらうとよい。
- ④親御さんと一緒の場合は、親御さんにはできるだけ黙ってもらう。先走って答えてしまう親御さんが多いから。
- ⑤子供の意見を聞いたら、それを認めてあげる。大人の論理を押し付けない。子供自身に考えてもらうように心がける。

● - チカラ 第2号 平成28年10月26日発行

金光教名古屋センター 発行者 石黒真樹

〒451-0043 名古屋市西区新道1-26-13

TEL 052-433-8181 FAX 052-571-8007